

大学生における性交経験者・未経験者に対する人物特性イメージの検討 イメージされた性別による差異の検討

Attribution of Personality Traits to People with or without Sexual Experience among Japanese University Students : Differences of Imaged Gender.

若尾良徳*

抄録：本研究では、性交経験の有無と人物特性イメージの結びつきにおける性差が、イメージした対象の性別による差異であるかを検討することを目的とする。大学生 469 名(男性 218 名,女性 228 名,不明 23 名)が質問紙に回答した。“男性の性交経験者”、“男性の性交未経験者”、“女性の性交経験者”、“女性の性交未経験者”^{注)}について、それぞれ性格特性イメージを評価してもらった。

その結果、測定した特性の 39 項目中 30 項目で“性交経験者”と“性交未経験者”のイメージの差がみられた。先行研究と同様に、“性交未経験者”は、“性交経験者”に比べて、対人能力や動機づけが低く、未熟で不安定であるが、純粋でまじめ、誠実であるとイメージされていた。性差については、20 項目において、イメージされた性別によって差がみられ、その多くの項目で、“男性の性交未経験者”は“女性の性交未経験者”よりネガティブにイメージされていた。性差が生じた理由について、年齢規範の観点から考察した。

1. 問題

現代の若者において、性交経験の有無が人物特性イメージと結びついていることが指摘されている。すなわち、性交経験者の人物特性、性交未経験者の人物特性というものが、若者の間で共有されているのである。たとえば、渋谷¹⁾は、雑誌の言説分析から、「一定年齢以上の童貞に対する、精神的欠陥やゆがんだパーソナリティを疑う思考の枠組みというものが、童貞言説上に存在する」と指摘している。「童貞は『コミュニケーション恐怖症』ともいわれる」、「童貞に与えられた病名のきわめつけは、『シャイマン・シンドローム』だろう¹⁾」といったように、男性の性交未経験者はコミュニケーションがうまくとれない恥ずかしがり屋であると評されるのである。さらに、童貞には「真面目で消極的」、「神経質、

* 浜松学院大学(心理学)

注) 本稿では、イメージされた対象としての性交経験者/性交未経験者と、主体としての性交経験者/性交未経験者の混同を避けるため、イメージされた対象としての性交経験者/性交未経験者を、それぞれ“性交経験者”/“性交未経験者”と表し、主体としての性交経験者/性交未経験者を、それぞれ性交経験のある者/性交経験のない者、または性交経験有群/性交経験無群と表す。同様に、イメージされた対象としての男性/女性と、主体としての男性/女性との混乱をさけるため、イメージされた対象としての男性/女性を、それぞれ“男性”/“女性”と表し、主体としての男性/女性を、それぞれ男性/女性と表す。

また、イメージされた対象としての“性交経験者”/“性交未経験者”の“男性”をそれぞれ“男性の性交経験者”/“男性の性交未経験者”と表し、“性交経験者”/“性交未経験者”の“女性”をそれぞれ“女性の性交経験者”/“女性の性交未経験者”と表す。

内向的，無口，几帳面，真面目，折り目正しい，責任感が強い」，「積極性が足りない」，といった特性が結びつけられていることをみだしている¹⁾。一方，女性の性交未経験者に対するイメージについては体系的な研究はみられないが，女性においても性交未経験であることを問題視する言説がいくつかみられる。たとえば，30歳代の性交未経験の女性の発言として，「処女だなんて知られた日には，気持ち悪がられるでしょう……」という言説がみられる²⁾。また，週刊誌の記事において，「早めにHデビューしとかなないと，ダサイシヤバイ」，「早い体験は，“イケてる女”として認められた証」という言説がみられる³⁾。

このような性交経験の有無と人物特性イメージとの結びつきは，大学生を対象とした調査研究で明らかにされている。若尾⁴⁾は，“性交経験者”と“性交未経験者”のイメージをそれぞれ39項目の形容詞対を評定させることで調べている。その結果，“性交経験者”と“性交未経験者”とは，大部分の特性で差がみられ，“性交経験者”の特性，“性交未経験者”の特性というものが，大学生に浸透していることが明らかになっている。全体として，“性交経験者”に比べて，“性交未経験者”がネガティブに評価される項目が多く，“性交未経験者”への問題視や偏見の存在が示唆されている。具体的な特性を見てみると，“性交未経験者”は，“性交経験者”に比べて，対人関係を作る能力や動機づけが低い，純粋でまじめ，誠実であると評価されており，童貞は「コミュニケーションがうまくとれない」が「まじめ」であるという言説¹⁾と一致した結果がみられている。また，“性交未経験者”は，“性交経験者”に比べて，未成熟で不安定であると評価されていた。このように性交経験の有無によって性格特性の評価が異なることは，若者の性行動を促す背景の1つとなっていることが考えられる。

ところで，若尾⁴⁾の調査においては，回答者の性別による差として，いくつかの項目において，“性交経験者”/“性交未経験者”のイメージと回答者の性別との交互作用効果がみられていた。すなわち，“性交未経験者”については男性回答者より女性回答者の方がポジティブに，“性交経験者”については女性回答者より男性回答者の方がポジティブに評定する傾向があった。このような結果が生じた理由として，回答者が同性をイメージして回答していたためと考えられる。性交経験の有無と人物特性イメージの結びつきが“男性”と“女性”で異なっており，“性交未経験者”については，“男性の性交未経験者”より“女性の性交未経験者”の方がポジティブにイメージされ，“性交経験者”については，“女性の性交経験者”より“男性の性交経験者”の方がポジティブにイメージされている可能性である。すなわち，男性には性的な活発さが，女性には貞節が求められる性の二重基準によるものであると考えることができる。

そこで，本研究においては，“性交経験者”/“性交未経験者”と結びつけられる人物特性イメージの性差を検討することを目的とする。すなわち，“男性の性交経験者”，“男性の性交未経験者”，“女性の性交経験者”，“女性の性交未経験者”について，それぞれ特性イメージを評価してもらい，性交経験の有無と人物評価の結びつきが“男性”対象と“女性”

対象とでどのように異なるかを検討する。先行研究でみられた性差が男女の意識の差によるものだとすれば、男性回答者と女性回答者にイメージの差がみられるが、“男性の性交経験者”と“女性の性交経験者”との差、および“男性の性交未経験者”と“女性の性交未経験者”との差がみられないであろう。それに対して、イメージされた対象の性差によって生じたのならば、回答者の性別を問わず、“男性の性交経験者”は“女性の性交経験者”よりポジティブに、“女性の性交未経験者”は“男性の性交未経験者”よりポジティブにイメージされるであろう。

2. 方法

2-1. 調査協力者

首都圏の4つの私立大学の大学生469名(男性218名,女性228名,不明23名)が質問紙に回答した。回答者の平均年齢は,19.90歳($SD=1.26$)であった。

2-2. 質問項目

人物特性イメージについては、「回答者と同年齢の“性交経験がある男性”、“性交経験がない男性”、“性交経験がある女性”、“性交経験がない女性”のイメージ」について、それぞれ39項目の形容詞対からなるSD法尺度でたずねた。これは、対になった形容詞について、7段階で回答するものであり、どちらかにあてはまると思うほど、1または7に近い回答をし、どちらともいえない場合は4に回答をするものである。形容詞対は先行研究⁴⁾と同様のものを用いた(Table1)。その他、回答者の性交経験の有無、回答者の性別、年齢についてたずねた。

2-3. 手続き

2005年12月から2006年7月に、各大学において講義中に質問紙を配布して集団で実施し、その場で回収した。

本研究の調査は、回答者の性交経験や性意識など倫理的に配慮を要する内容を含むため、実施において次のような措置を行った。質問紙の配布に先立って、大学における試験と同様に座席を1つおきにして座るように求め、他人の回答を決して見ないように指示した。回答は授業の単位とは無関係であること、無記名調査であり回答の有無を判別できないこと、回答するかどうかは自由であること、回答したくない項目があれば回答しなくてもよいことを口頭で説明した。また、実施に際しては、質問紙と共に口糊付きの封筒を配布し、回答済みの質問紙は封筒に入れて封をして提出してもらった。回答済みの質問紙の入った封筒は、回答者自らの手で回収箱に入れてもらった。

Table1 イメージ対象の性別・性交経験有無別のイメージ得点の男女別の平均値と標準偏差

| | “男性の性交経験者” | | “男性の性交未経験者” | | “女性の性交経験者” | | “女性の性交未経験者” | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 男性回答者 | 女性回答者 | 男性回答者 | 女性回答者 | 男性回答者 | 女性回答者 | 男性回答者 | 女性回答者 |
| | M | SD | M | SD | M | SD | M | SD |
| (1)積極的な(消極的な) | 5.36 (1.23) | 5.30 (1.09) | 2.75 (1.53) | 2.55 (1.26) | 5.04 (1.30) | 5.04 (1.17) | 2.78 (1.37) | 2.84 (1.23) |
| (2)人のよい(人のわるい) | 4.07 (1.38) | 4.08 (1.04) | 4.85 (1.43) | 4.69 (1.22) | 4.22 (1.33) | 4.40 (1.13) | 4.70 (1.42) | 4.78 (1.18) |
| (3)なまいきでない(なまいきな) | 3.97 (1.33) | 3.83 (1.17) | 4.52 (1.49) | 4.68 (1.24) | 3.94 (1.30) | 4.07 (1.23) | 4.43 (1.50) | 4.73 (1.20) |
| (4)ひとつっこい(近づきたい) | 4.65 (1.41) | 4.72 (1.32) | 3.53 (1.41) | 3.42 (1.34) | 4.72 (1.42) | 4.98 (1.24) | 3.59 (1.46) | 3.97 (1.37) |
| (5)かわいらしい(にくらしい) | 4.02 (1.13) | 4.21 (0.96) | 4.22 (1.21) | 4.24 (1.05) | 4.54 (1.34) | 4.76 (1.20) | 4.36 (1.34) | 4.53 (1.02) |
| (6)心の広い(心のせまい) | 4.40 (1.25) | 4.39 (0.91) | 3.95 (1.45) | 3.90 (1.14) | 4.40 (1.29) | 4.54 (0.98) | 3.86 (1.39) | 4.16 (1.08) |
| (7)社交的な(非社交的な) | 5.10 (1.36) | 5.37 (1.22) | 3.38 (1.49) | 3.07 (1.25) | 5.04 (1.31) | 5.33 (1.16) | 3.66 (1.41) | 3.54 (1.35) |
| (8)責任感のある(責任感のない) | 3.89 (1.55) | 3.75 (1.37) | 4.28 (1.45) | 4.45 (1.25) | 3.85 (1.34) | 3.92 (1.18) | 4.50 (1.47) | 4.83 (1.18) |
| (9)慎重な(軽率な) | 3.40 (1.30) | 3.57 (1.20) | 5.11 (1.35) | 5.36 (1.33) | 3.57 (1.37) | 3.68 (1.17) | 5.22 (1.41) | 5.51 (1.19) |
| (10)恥ずかしがりの(恥じしらずの) | 3.54 (1.23) | 3.55 (1.00) | 5.18 (1.36) | 5.19 (1.36) | 3.68 (1.22) | 3.77 (1.06) | 5.09 (1.39) | 5.38 (1.18) |
| (11)重厚な(軽薄な) | 3.59 (1.23) | 3.47 (1.14) | 4.44 (1.30) | 4.66 (1.18) | 3.62 (1.19) | 3.66 (1.07) | 4.41 (1.34) | 4.89 (1.17) |
| (12)うきうきした(沈んだ) | 4.85 (1.31) | 4.91 (1.05) | 3.51 (1.36) | 3.58 (1.09) | 4.73 (1.26) | 4.88 (1.04) | 3.63 (1.28) | 3.88 (0.99) |
| (13)堂々とした(卑屈な) | 4.80 (1.36) | 4.72 (1.10) | 3.56 (1.27) | 3.63 (1.09) | 4.62 (1.19) | 4.74 (1.01) | 3.68 (1.27) | 3.93 (0.99) |
| (14)感じのよい(感じのわるい) | 4.30 (1.53) | 4.24 (1.07) | 4.07 (1.35) | 4.10 (1.20) | 4.37 (1.40) | 4.47 (1.10) | 4.28 (1.45) | 4.53 (1.10) |
| (15)分別のある(無分別な) | 3.91 (1.31) | 3.86 (1.13) | 4.30 (1.37) | 4.54 (1.10) | 3.94 (1.32) | 4.10 (1.13) | 4.46 (1.41) | 4.89 (1.19) |
| (16)親しみやすい(親みにくい) | 4.54 (1.51) | 4.59 (1.31) | 3.65 (1.48) | 3.68 (1.43) | 4.76 (1.45) | 4.63 (1.22) | 3.64 (1.39) | 4.29 (1.35) |
| (17)意欲的な(無気力な) | 4.95 (1.33) | 5.11 (1.15) | 3.70 (1.34) | 3.61 (1.10) | 4.86 (1.33) | 4.82 (1.15) | 3.83 (1.30) | 3.99 (1.12) |
| (18)自信のある(自信のない) | 5.05 (1.31) | 5.25 (1.14) | 3.09 (1.39) | 2.92 (1.30) | 4.82 (1.29) | 4.97 (1.24) | 3.24 (1.34) | 3.20 (1.25) |
| (19)気長な(短気な) | 3.70 (1.29) | 3.58 (1.03) | 4.32 (1.32) | 4.40 (1.30) | 3.86 (1.23) | 4.01 (0.99) | 4.23 (1.35) | 4.65 (1.09) |
| (20)親切な(不親切な) | 4.27 (1.35) | 4.37 (1.03) | 4.28 (1.36) | 4.30 (1.11) | 4.33 (1.24) | 4.48 (1.00) | 4.46 (1.28) | 4.54 (1.12) |
| (21)落ち着いた(焦った) | 4.08 (1.38) | 4.18 (1.21) | 3.96 (1.49) | 3.99 (1.41) | 4.12 (1.33) | 4.28 (1.11) | 4.41 (1.32) | 4.30 (1.38) |
| (22)成熟した(未熟な) | 4.17 (1.45) | 4.24 (1.33) | 3.47 (1.36) | 3.25 (1.18) | 4.34 (1.51) | 4.57 (1.29) | 3.61 (1.31) | 3.49 (1.19) |
| (23)安定した(不安定な) | 4.07 (1.24) | 4.15 (1.13) | 3.80 (1.24) | 3.67 (1.16) | 3.98 (1.35) | 4.15 (1.19) | 3.79 (1.33) | 3.99 (1.22) |
| (24)自立的な(依存的な) | 4.12 (1.39) | 4.11 (1.14) | 3.80 (1.30) | 3.96 (1.24) | 3.96 (1.46) | 3.85 (1.33) | 4.08 (1.32) | 4.38 (1.21) |
| (25)正常な(異常な) | 4.63 (1.43) | 4.72 (1.23) | 4.06 (1.48) | 4.08 (1.26) | 4.49 (1.42) | 4.74 (1.23) | 4.38 (1.45) | 4.55 (1.19) |
| (26)意志が強い(意志が弱い) | 4.08 (1.36) | 4.21 (1.14) | 3.92 (1.53) | 3.80 (1.35) | 4.08 (1.37) | 4.26 (1.25) | 4.40 (1.45) | 4.35 (1.28) |
| (27)まじめな(ふまじめな) | 3.69 (1.21) | 3.78 (1.07) | 4.78 (1.46) | 5.00 (1.35) | 3.90 (1.27) | 3.89 (1.03) | 5.04 (1.40) | 5.21 (1.26) |
| (28)誠実な(不誠実な) | 3.82 (1.32) | 3.93 (1.12) | 4.64 (1.42) | 4.80 (1.30) | 3.95 (1.31) | 4.13 (1.05) | 4.91 (1.35) | 5.09 (1.23) |
| (29)純粋な(不純な) | 3.78 (1.26) | 3.85 (1.14) | 4.87 (1.42) | 5.00 (1.29) | 3.78 (1.32) | 4.10 (1.21) | 5.18 (1.35) | 5.31 (1.28) |
| (30)素直な(ひねくれた) | 4.12 (1.25) | 4.36 (1.19) | 4.31 (1.55) | 4.30 (1.42) | 4.19 (1.34) | 4.51 (1.16) | 4.56 (1.43) | 4.69 (1.37) |
| (31)さばさばした(ねちねちした) | 4.35 (1.31) | 4.27 (1.07) | 3.78 (1.30) | 3.66 (1.20) | 4.35 (1.27) | 4.47 (1.20) | 4.07 (1.16) | 4.25 (1.22) |
| (32)たのしい(つまらない) | 4.84 (1.50) | 4.91 (1.17) | 3.71 (1.41) | 3.64 (1.23) | 4.76 (1.42) | 4.89 (1.19) | 3.86 (1.39) | 4.15 (1.22) |
| (33)おしゃれな(ださい) | 4.73 (1.31) | 4.75 (1.16) | 3.30 (1.36) | 3.39 (1.29) | 4.97 (1.32) | 4.93 (1.22) | 3.61 (1.42) | 3.89 (1.12) |
| (34)世間体の良い(世間体の悪い) | 4.26 (1.31) | 4.27 (1.08) | 4.09 (1.40) | 4.12 (1.10) | 4.29 (1.35) | 4.28 (1.09) | 4.36 (1.42) | 4.73 (1.19) |
| (35)清潔な(不潔な) | 4.15 (1.31) | 4.19 (1.13) | 4.10 (1.50) | 4.29 (1.31) | 4.32 (1.43) | 4.40 (1.19) | 4.46 (1.57) | 4.96 (1.25) |
| (36)性格の良い(性格の悪い) | 4.39 (1.34) | 4.42 (1.08) | 4.28 (1.42) | 4.13 (1.19) | 4.26 (1.31) | 4.44 (1.16) | 4.39 (1.40) | 4.49 (1.12) |
| (37)柔軟な(固い) | 4.69 (1.28) | 4.79 (1.06) | 3.28 (1.31) | 3.21 (1.26) | 4.50 (1.25) | 4.91 (0.99) | 3.35 (1.36) | 3.29 (1.29) |
| (38)外向的な(内向的な) | 5.05 (1.34) | 5.27 (1.22) | 3.09 (1.37) | 2.93 (1.40) | 4.88 (1.40) | 5.36 (1.12) | 3.20 (1.28) | 3.17 (1.42) |
| (39)他人思いな(自分勝手な) | 4.00 (1.44) | 3.91 (1.15) | 4.05 (1.40) | 4.05 (1.23) | 3.99 (1.41) | 4.36 (1.16) | 4.17 (1.46) | 4.46 (1.19) |

NOTE. 各項目の得点が高いほどポジティブになるように方向をそろえた。 は逆転項目である。

3. 結果

3-1. 本研究のサンプルの性交経験率

本研究のサンプルの性交経験率は、男性 63.7%、女性 54.1%であり、2005 年の日本性教育協会の調査結果(男性 61.3%、女性 61.1%)⁵⁾と比べると女性で若干低い割合であった。

3-2. 性別ごとの性交経験の有無と人物評価の結びつきの検討

“性交経験者”と“性交未経験者”との特性イメージの差が再現されるか、また“男性”に対するイメージと“女性”に対するイメージとでは違いがあるかを検討するために、“男性の性交経験者”、“男性の性交未経験者”、“女性の性交経験者”、“女性の性交未経験者”のイメージを比較した。39 項目の形容詞対それぞれについて、イメージ対象の性交経験(被験者内：“性交経験者” vs. “性交未経験者”)、イメージ対象の性別(被験者内：“男性” vs. “女性”)、回答者の性別(被験者間：男性回答者 vs. 女性回答者)を独立変数とした混合要因の分散分析を行った。各対象について評価された各特性項目の平均値と標準偏差を、男性回答者、女性回答者別に Table1 に示した。また、イメージ対象の性別・性交経験有無別のイメージ得点の分散分析結果を Table2 に示した。ここでは、本研究の目的と関連するイメージ対象の性交経験の主効果、イメージ対象の性交経験と回答者の性別との交互作用効果、イメージ対象の性交経験とイメージ対象の性別との交互作用効果、および 3 要因の交互作用効果のみを報告する。

イメージ対象の性交経験の主効果は、39 項目中 30 項目において有意な効果がみられた (Table2)。そのうち 17 項目において“性交経験者”の方が“性交未経験者”よりポジティブに、13 項目において“性交未経験者”の方が“性交経験者”よりポジティブにイメージされていた。“性交経験者”の方が“性交未経験者”よりポジティブにイメージされていた項目は、「(1)積極的な」、「(4)ひとなつっこい」、「(7)社交的な」、「(16)親しみやすい」、「(38)外向的な」などの、対人関係の能力や動機づけの高さを表す特性群、および「(22)成熟した」、「(23)安定した」、「(13)堂々とした」などの、成熟・安定を表す特性群であった。一方、“性交未経験者”の方が“性交経験者”よりポジティブにイメージされていた項目は、「(27)まじめな」、「(28)誠実な」、「(29)純粋な」、「(30)素直な」、「(8)責任感のある」など、純粋さ、まじめさ、誠実さを表す特性群であった。

イメージ対象の性交経験と回答者の性別との交互作用効果は、4 項目において有意な効果がみられた。2 項目において“性交未経験者”について、女性回答者の方が男性回答者に比べてポジティブにイメージをしており、2 項目において“性交経験者”について、女性回答者の方が男性回答者に比べてポジティブにイメージをしていた。

イメージ対象の性交経験とイメージ対象の性別との交互作用効果については、20 項目で有意な効果がみられた。事後検定の結果、16 項目において“女性の性交未経験者”の方が“男性の性交未経験者”に比べてポジティブにイメージされていた。4 項目において“男

Table2 イメージ対象の性別・性交経験有無別のイメージ得点の分散分析結果

| | 性交経験有無の主効果 | | 性交経験有無 × 回答者性別 | | 性交経験有無 × イメージ対象性別 | | 3要因 |
|---------------------|------------|--------|----------------|-------|-------------------|---------------|---------------|
| | F値 | | F値 | | F値 | | |
| (1)積極的な(消極的な) | 836.75 | *** 1) | .06 | | 19.74 | *** 5)7) | .83 |
| (2)人のよい(人のわるい) | 58.43 | *** 2) | .77 | | 6.98 | ** 6) | .16 |
| (3)なまいきでない(なまいきな) | 61.25 | *** 2) | 2.20 | | 1.13 | | .32 |
| (4)ひとつっこい(近づきたい) | 164.81 | *** 1) | .02 | | 1.73 | | 2.00 |
| (5)かわいらしい(にくらしい) | .45 | | .75 | | 11.70 | *** 8) | .44 |
| (6)心の広い(心のせまい) | 42.24 | *** 1) | .21 | | .01 | | .91 |
| (7)社交的な(非社交的な) | 408.84 | *** 1) | 7.82 | ** 3) | 18.76 | *** 7) | .68 |
| (8)責任感のある(責任感のない) | 58.47 | *** 2) | 2.66 | | 3.93 | * 7) | .03 |
| (9)慎重な(軽率な) | 404.44 | *** 2) | .56 | | .01 | | .26 |
| (10)恥ずかしがりの(恥じしらずの) | 383.46 | *** 2) | .40 | | 1.89 | | 1.27 |
| (11)重厚な(軽薄な) | 169.69 | *** 2) | 6.36 | * 4) | .01 | | .24 |
| (12)うきうきした(沈んだ) | 244.93 | *** 1) | .13 | | 10.20 | ** 7) | .23 |
| (13)堂々とした(卑屈な) | 198.16 | *** 1) | .89 | | 8.53 | ** 7) | .01 |
| (14)感じのよい(感じのわるい) | 1.88 | | .60 | | 2.53 | | .08 |
| (15)分別のある(無分別な) | 54.11 | *** 2) | 3.09 | | 1.22 | | .02 |
| (16)親しみやすい(親しみにくい) | 82.64 | *** 1) | 4.60 | * 4) | 2.45 | | 13.37 *** 11) |
| (17)意欲的な(無気力な) | 213.59 | *** 1) | .02 | | 22.01 | *** 5)7) | 5.36 * 12) |
| (18)自信のある(自信のない) | 483.65 | *** 1) | 2.63 | | 22.56 | *** 5)7) | .94 |
| (19)気長な(短気な) | 67.00 | *** 2) | 2.41 | | 4.30 | * 6) | .11 |
| (20)親切的な(不親切的な) | .23 | | .34 | | 2.00 | | .01 |
| (21)落ち着いた(焦った) | .00 | | .93 | | 7.88 | ** 7) | .87 |
| (22)成熟した(未熟な) | 105.09 | *** 1) | 3.49 | | .37 | | .07 |
| (23)安定した(不安定な) | 13.57 | *** 1) | .34 | | 3.29 | | 1.16 |
| (24)自立的な(依存的な) | .35 | | 3.35 | | 21.84 | *** 5)7)9)10) | 1.06 |
| (25)正常な(異常な) | 23.26 | *** 1) | .22 | | 19.93 | *** 7)9) | .00 |
| (26)意志が強い(意志が弱い) | .22 | | 2.06 | | 16.99 | *** 7)9)10) | .01 |
| (27)まじめな(ふまじめな) | 223.22 | *** 2) | .92 | | .48 | | .12 |
| (28)誠実な(不誠実な) | 124.45 | *** 2) | .03 | | 1.24 | | .05 |
| (29)純粋な(不純な) | 203.91 | *** 2) | .14 | | 3.85 | | 1.55 |
| (30)素直な(ひねくれた) | 4.47 | * 2) | 1.99 | | 3.65 | | .07 |
| (31)さばさばした(ねちねちした) | 32.10 | *** 1) | .00 | | 9.02 | ** 7) | .16 |
| (32)たのしい(つまらない) | 149.15 | *** 1) | .00 | | 15.49 | *** 7) | 2.50 |
| (33)おしゃれな(ださい) | 240.49 | *** 1) | 1.45 | | 3.66 | | 1.54 |
| (34)世間体の良い(世間体の悪い) | .39 | | 1.67 | | 16.36 | *** 7)10) | 3.27 |
| (35)清潔な(不潔な) | 4.18 | * 2) | 2.36 | | 9.15 | ** 10) | 1.76 |
| (36)性格の良い(性格の悪い) | .63 | | .81 | | 9.43 | ** 7)9) | .28 |
| (37)柔軟な(固い) | 282.11 | *** 1) | 3.49 | | 1.22 | | 2.35 |
| (38)外向的な(内向的な) | 513.75 | *** 1) | 6.06 | * 3) | 4.10 | * 7) | .40 |
| (39)他人思いな(自分勝手な) | 2.21 | | .00 | | .15 | | .53 |

NOTE. は逆転項目である。

NOTE. *** $p < .001$ ** $p < .01$ * $p < .05$

NOTE. 1) “性交経験者” > “性交未経験者” 2) “性交未経験者” > “性交経験者” 3) “性交経験者”について、女性回答者 > 男性回答者 4) “性交未経験者”について、女性回答者 > 男性回答者 5) “性交経験者”で “男性” > “女性” 6) “性交経験者”で “女性” > “男性” 7) “性交未経験者”で “女性” > “男性” 8) “女性”で “性交経験者” > “性交未経験者” 9) “男性”で “性交経験者” > “性交未経験者” 10) “女性”で “性交未経験者” > “性交経験者” 11) 女性回答者で “女性の性交経験者” > “男性の性交経験者”，男性回答者で “女性の性交未経験者” > “男性の性交未経験者”， “女性の性交未経験者”について女性回答者 > 男性回答者 12) 女性回答者で “男性の性交経験者” > “女性の性交経験者”，女性回答者で “女性の性交未経験者” > “男性の性交未経験者”

性の性交経験者”の方が“女性の性交経験者”に比べてポジティブにイメージされており，2項目において“女性の性交経験者”の方が“男性の性交経験者”に比べてポジティブにイメージされていた。また，4項目において“男性の性交経験者”の方が“男性の性交未経験者”に比べてポジティブにイメージされていた。4項目において“女性の性交未経験者”の方が“女性の性交経験者”に比べてポジティブにイメージされており，1項目において“女性の性交経験者”の方が“女性の性交未経験者”に比べてポジティブにイメージされていた。

イメージ対象の性交経験とイメージ対象の性別と回答者の性別との3要因の交互作用効果は，2項目においてみられた。「(16) 親しみやすい-親みにくい」については，女性回答者は“女性の性交経験者”を“男性の性交経験者”よりポジティブに，男性回答者は“女性の性交未経験者”を“男性の性交未経験者”よりポジティブにイメージしていた。また，“女性の性交未経験者”について，女性回答者の方が男性回答者よりポジティブにイメージしていた。「(17) 意欲的な-無気力な」については，女性回答者は，“男性の性交経験者”を“女性の性交経験者”よりポジティブに，“女性の性交未経験者”を“男性の性交未経験者”よりポジティブにイメージしていた。

4. 考察

4-1. 性交経験の有無と人物特性イメージの結びつきの強さ

本研究は，大学生を対象に，“性交経験者”/“性交未経験者”と結びつけられる人物特性イメージ，およびその性差を検討するために，回答者と同年齢の“男性の性交経験者”，“男性の性交未経験者”，“女性の性交経験者”，“女性の性交未経験者”の4つの対象のイメージの比較をした。

“性交経験者”と“性交未経験者”のイメージの差は，39項目中30項目においてみられ，“性交経験者”/“性交未経験者”に人物特性イメージが強く結びつけられていることが示された。本研究で用いられた特性形容詞は，性交経験の有無と結びつきやすいと考えられるものだけでなく，一般的な対人評価を調べるための特性形容詞尺度20項目⁶⁾(項目1~20)が含まれる。一般的な対人評価特性20項目のうち17項目においても“性交経験者”と“性交未経験者”とのイメージの差がみられたことから，性交経験の有無と人物特性イメージの結びつきが，非常に強固であることがうかがえる。具体的には，“性交未経験者”は，“性交経験者”に比べて，対人能力や動機づけが低く，未熟で不安定であるが，純粋でまじめ，誠実であるとイメージされるという先行研究の結果が再現されていた。これらの結果は，童貞は「コミュニケーションがうまくとれない」が「まじめ」であるという言説研究の結果¹⁾や処女に関する言説^{2,3)}とも一致している。また，“性交未経験者”が“性交経験者”と比べて未成熟であるとみなされていることは，性交をすることは成熟において重要であるという先行研究の結果とも一致している⁷⁾，これらのことから，日本の大学

生において“性交経験者”，“性交未経験者”にそれぞれ典型的な人物特性のイメージが広く共有されていることが示唆される。

4 - 2 . 性交経験の有無と人物特性イメージの結びつきの性差

性交経験の有無と人物特性イメージの結びつきの性差について検討したところ，回答者の性別によって，性交経験の有無と人物特性イメージの結びつきに差がみられたのは（回答者の性別とイメージ対象の性交経験との交互作用効果）わずか4項目であるのに対して，イメージされた対象の性別によって差がみられたのは（イメージ対象の性交経験とイメージ対象の性別との交互作用），20項目であった。また，先行研究で性差がみられた5項目のうち，「(12) うきうきした-沈んだ」，「(13) 堂々とした-卑屈な」，「(17) 意欲的な-無気力な」，「(32) たのしいつまらない」の4項目で，イメージ対象の性別による差がみられている。そこでみられた差の方向についても，先行研究において“性交未経験者”について男性回答者より女性回答者の方がポジティブであったのに対して，“性交未経験の男性”より“性交未経験の女性”の方がポジティブであるという対応した結果であった。一方，回答者の性別による差は，「(16) 親しみやすい-親みにくい」のみが先行研究の結果と対応していた。これらの結果から，先行研究でみられた性差の大部分は，イメージされた対象の性別によるものであったと考えられる。さらに，先行研究で性差がみられたのは，5項目であったのに対して，本研究では20項目でイメージ対象の性差がみられている。イメージ対象の性別を明確にしたことで，性差がより顕在化したのであろうと考えられる。

4 - 3 . “性交未経験の男性”へのネガティブイメージの背景

本研究では，全体として，“性交未経験者”は，“性交経験者”よりネガティブにイメージされる側面が多かった。性差については，イメージ対象の性差（イメージ対象の性交経験とイメージ対象の性別との交互作用）のあった20項目中16項目で“男性の性交未経験者”は“女性の性交未経験者”に比べて，ネガティブにイメージされており，“男性の性交未経験者”が“女性の性交未経験者”よりポジティブにイメージされる特性はなかった。また，“女性の性交経験者”より“女性の性交未経験者”の方がポジティブにイメージされる特性があるのに対して，“男性の性交経験者”より“男性の性交未経験者”がポジティブにイメージされる特性はなかった。すなわち，“男性の性交未経験者”が最もネガティブなイメージをされており，20歳くらいの“男性”においては，“性交未経験者”であることは，“女性”や“男性の性交経験者”に比べて多くの側面でネガティブにイメージされるようである。一方，“女性”においては，20歳くらいの年齢において“性交未経験者”であることは，それほどネガティブにイメージされないようである。むしろ“性交経験者”よりポジティブにみられる側面も多くみられた。雑誌などの言説においても，“男性の性交未経験者”をネガティブに言及するものは，非常に多いのに対して，“女性の性交未経験者”

をネガティブに評価するものは比較的少ない。

このように“男性の性交未経験者”が相対的に最もネガティブにイメージされる理由として、次のようなことが考えられる。1つは、初交を経験するのに望ましい年齢からの逸脱である。若尾・天野⁸⁾は、大学生を対象に、その年齢までに初交を経験するのがよいという、望ましい初交年齢の上限を調査している。その結果、20歳以下の年齢を回答した者の割合は、男性に対しては75.1%、女性に対しては66.9%であった。このように20歳くらいまでに初交を経験しているのが望ましいという意識は、年齢規範の1つと考えることができる。年齢規範とは、年齢にふさわしい行動に関する期待であり⁹⁾、ある文脈の中で、個人がある役割や状態にあるのに標準的な、または典型的な年齢について社会の成員に広く共有された判断である¹⁰⁾。年齢規範は、年齢にふさわしい行動の期待が共有されているだけでなく、その時期を逸脱した人に対して、サンクション(sanction)を生じるといわれる^{9,11)}。このサンクションは、時期をはずした人に対する低い評価として現れることがある。たとえば、Neugarten & Hägestad¹²⁾によれば、年齢規範から逸脱した行為をした人は、「眉をひそめられたり、あざけりの対象」となることがある。現代の若者社会において、初交を経験するのにふさわしい年齢が共有されており、その年齢以上の“性交未経験者”に対して低い評価が生じると考えられる。若尾・天野⁸⁾によると、望ましい初交年齢の上限は、男性より女性に対して高く考えられており、男性に対しては平均20.25歳、女性に対しては平均21.26歳であった。大学生が同年齢の“性交未経験者”をイメージしたときに、“男性”については、初交を経験するのに望ましい年齢の上限年齢を超えていると考える者が多いが、“女性”については、そのように考える者が少ないであろう。したがって、“性交未経験者の男性”はネガティブにイメージされていたのだと考えられる。

また、“性交未経験者”の“男性”が“性交未経験者”の“女性”に比べて、ネガティブにイメージされる背景には、性の二重基準の存在が考えられる。日本の社会には、伝統的に性行動が社会的に許容される程度には性差が存在し、男性には性的な放縦さが、女性には貞節を重んじることが求められてきた¹³⁾。先述のように、童貞に対するネガティブな言説が多くみられるのに対して¹⁾、日本では近代以降、女性の処女性が尊重されてきた¹⁴⁾。未婚の女性においては、処女、すなわち性交未経験であることが求められ、処女の純潔に価値がおかれていた。現在では、高校生において「(自らが)結婚するまでは性交しない方がよい」と考えている者は、1割にも満たないが、男子(6.5%)より女子(8.9%)の方が若干多い¹⁵⁾。また、大学生においては、性交について「男性の方が経験が豊かであるべきだ」という意見について、賛成(そう思う、またはどちらかといえばそう思う)と考えるものが、少ないながらも存在する(男子12.4%、女子24.4%)⁵⁾。このように、現在でも性の二重基準の名残があり、性行動において、男性は活発で、女性は控えめであるのが望ましいという意識がいくらかみられるようである。

“男性”においては、20歳くらいまでに初交をするのがよいという年齢規範がある程度

共有されており、それを逸脱している、またはもうすぐ逸脱してしまう“性交未経験者”に対するサンクションとしてのネガティブな評価がなされやすいのであろう。また、性の二重基準からすると、男性には性的な放縦さが求められるにも関わらず、ある程度の年齢になっても性交を経験していないということから、何らかの問題があるとみなされやすいのであろう。一方、“女性”においては、望ましい初交年齢の上限は“男性”より高いため、イメージされた人物が年齢規範から逸脱している程度は“男性”より小さく、貞節を重んじるのがよいという伝統的な価値観にも従っている。そのため、“女性の性交未経験者”は相対的にポジティブにイメージされるのであろう。

4 - 4 . 思春期の支援への示唆

本研究の結果は、思春期の若者への支援に対して次のような示唆を与えることができる。本研究の結果から、20歳くらいの若者において、性交経験があるかどうかで、周囲の若者からの性格特性の評価が異なってしまうこと、また、その傾向には性差があり、“男性の性交未経験者”へのネガティブな評価が顕著であることが示されている。親や教育者などのより上の世代に属する者は、10代の性行動を「問題行動」と捉えて、性行動を行った若者をネガティブに評価する向きが強い。しかし、若者間では、特に男性においては、むしろポジティブに評価される傾向がある。すなわち、若者は性交をしていないことで、同世代から偏見をもってみられることがあるのである。若者の性に関して教育的な関わりをする際には、このような若者の意識を理解しておくことが必要であらう。

また、このような評価は、若者の性行動を促す要因の一つとなっていることが考えられる。先行研究⁴⁾においては、性交経験のない若者が“性交未経験者”を未成熟で不安定であるとイメージしているほど、性交経験がないことに焦りや引け目を感じていることが明らかになっている。本研究の結果から、“男性の性交未経験者”が非常にネガティブに評価されていることから、性交経験の有無と人物特性の結びつきは、男性の性行動を強く促進していることが予想される。若者の性に関して教育的な関わりをする際には、性経験の有無によって人を判断することがないような教育も必要であらう。

4 - 5 . 本研究の限界と展望

最後に、本研究の制限を指摘しておくとともに、今後の研究に向けた展望を述べる。本研究の制限として、サンプリングの問題が挙げられる。本研究は先行研究に比べてサンプル数が多いものの、恣意的に選択した特定の大学の学生という偏ったサンプルであることは否めない。この結果が、20歳前後の若者すべてにあてはまるとは断言できない。今後は、ランダムサンプリングを行い、大学生に限定せず幅広い対象に調査を行う必要がある。また、本研究は1人の回答者に“男性の性交経験者”、“男性の性交未経験者”、“女性の性交経験者”、“女性の性交未経験者”の4つの対象をイメージしてもらった被験者内計画であり、

性交経験の有無が意識されやすく、差異が出やすかったと考えられる。被験者間計画により性交経験の有無を顕在化させない方法でもイメージの差異が生じるのかを検討していく必要がある。最後に、今後の展望として、本研究で示されたような、性交経験の有無と人物特性イメージの結びつきの発達的な変化を調べることは非常に興味深い。20歳において性交未経験であることと、15歳や30歳で性交未経験であることは、その社会的な意味や位置づけは全く異なっているであろう。今後、より上の年齢や下の年齢の人々に対して、同様の調査をしていくことで、「性交未経験者」に向けられる問題視や偏見がどのような発達的な変化をするのか明らかにすることは、若者の性意識を理解する上で重要であろう。

文献

- 1) 渋谷知美：日本の童貞，文藝春秋，東京，2003.
- 2) 渡部伸：中年童貞—少子化時代の恋愛格差—，扶桑社，東京，2007.
- 3) 週刊文春：女子小中学生に蔓延する「セックス知識」のチョー非常識 - 「早く経験するほどいい女に育つ」「Hしたら巨乳になる」，週刊文春 2004年12月23日号，46-49，2004.
- 4) 若尾良徳：性交未経験者への偏見とその影響—大学生における性交経験者と性交未経験者の人物イメージの検討—，思春期学，26，1，154-166，2008.
- 5) 日本性教育協会：「若者の性」白書-第6回青少年の性行動全国調査報告，小学館，東京，2007.
- 6) 林 文俊：対人認知構造の基本次元についての一考察，名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科），25，233-247，1978.
- 7) 新井周作，森下覚，岡部大介，有元典文：文化的なオブジェクトとしての「童貞」，横浜国立大学大学院教育学研究科教育相談・支援総合センター紀要，4，67-88，2004.
- 8) 若尾良徳，天野陽一：大学生における望ましい初交年齢の意識—神奈川県の一私立大学を対象として—，思春期学，25，4，455-462，2007.
- 9) Neugarten, B. L., Moore, J. W., & Lowe, J. C. : Age Norms, Age Constraints, and Adult Socialization. *American Journal of Sociology*, 70, 710-717, 1965.
- 10) Lawrence, B. S. : New wrinkles in the theory of age: demography, norms, and performance ratings. *Academy of Management Journal*, 31, 309-337, 1988.
- 11) Lawrence, B. S. : Organizational age norms: Why is it so hard to know one when you see one? *The Gerontologist*, 36, 209-220, 1996.
- 12) Neugarten, B. L. & Hägestad, G. O. : Age and the life course. *Handbook of aging and the social sciences* (R. H. Binstock & E. Shanas (Eds.)), 35-55, Van Nostrand Reinhold, New York, 1976.
- 13) 橋爪大三郎：性道德，事典家族（比較家族史学会編），516，弘文堂，東京，1996.
- 14) 川村邦光：処女の近代 - 封印された肉体，セクシュアリティの社会学（井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉編），131-147，岩波書店，東京，1996.
- 15) 東京都幼稚園・小・中・高・心障性教育研究会：児童・生徒の性—東京都幼・小・中・高等学校の性意

識・性行動に関する調査報告（2005年調査）、学校図書、東京、2005.

謝辞

本論文の執筆にあたって首都大学東京の天野陽一さんにご協力をいただきました。記して謝意を表します。